

## 令和5年度 外国語科「英語コミュニケーションⅠ」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	全学科 1年ABC組
教科書	All Aboard! English Communication I (東京書籍)	副教材等	・アクセスアンカー英和辞典 (学習研究社) ・キホンの英単語 [聞く・読む・書く・話す] らくらくドリル (実務教育出版)

### 1 学習の到達目標

英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

#### (1) 聞くこと

- ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。
- イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。

#### (2) 読むこと

- ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。
- イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。

#### (3) 話すこと [やり取り]

- ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。
- イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができるようにする。

#### (4) 話すこと [発表]

- ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。
- イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。

#### (5) 書くこと

- ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。
- イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。

## 2 評価の観点

知識・技能	・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働き、言語の背景にある文化などについて理解を深め、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、適切に活用できる基礎的な技能を身につけている。
思考・判断・表現	・目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題について、英語で情報や考えなどを的確に理解・表現したり、伝え合っている。
主体的に学習に取り組む態度	・英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

## 3 評価の方法

次の3観点を、記載の評価資料に基づいて abc の3段階で評価します。

- ・ 知識・技能 : 定期考査, 小テストなど
- ・ 思考・判断・表現 : 定期考査, 小テスト, パフォーマンステスト, レポートなど
- ・ 主体的に学習に取り組む態度 : 提出物, 授業態度, パフォーマンステストなど

## 4 担当者からのメッセージ

### ◎授業について

1. 英語の授業は、体育や芸術の授業と似ています。教師が黒板に書き、それを皆さんがノートに書き写すだけではなく、皆さん自身が積極的に参加して初めて成立する授業と言えます。主体的に行動する勇気を持って参加してください。
2. NO 欠席, NO 遅刻, NO 未提出, NO おしゃべり, FULL 活動, FULL MARKS。これが BEST です。

### ◎評価について

1. 定期考査, 英単語テストなど
2. 授業内で行う音読テスト, 書き取りテスト, 聞き取りテスト, インタビューテストなど
3. 課題や提出物(ノート・プリント)の内容など
4. 授業への取組み

上記1～4を総合的に判断して評価します。評価の割合は、知識・技能については約40%、思考・判断・表現については約30%、主体的に学習に取り組む態度については約30%を目安とします。

5 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の観点	領域					評価項目数	評価の材料等
					聞	読	取	発	書		
4	Warm-Up 1	・アルファベット	・アルファベットを使って単語を正確に書き発音する。	知	○	○		○	○	12	活動観察 ワークシート 小テスト
				思	○	○		○	○		
				態	○	○		○	○		
	Warm-Up 2	・教室で使う表現	・授業における典型的な場面でよく使われる英語表現を理解し、実際に使ってみる。	知	○	○	○	○		12	
			思	○	○	○	○				
			態	○	○	○	○				
	Warm-Up 3	・辞書の使い方 ・疑問詞	・辞書を使って単語を調べてみる。また、疑問詞のある疑問文と答え方を学習する。	知	○	○	○		○	12	
			思	○	○	○		○			
			態	○	○	○		○			
5	Pre-Lesson 1 My Name Is Ito Neko オレの名前は伊藤ネコだ	・be 動詞	・be 動詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ・自分の名前・性格・特徴など、be 動詞を用いた基本的な表現について理解する。	知	○	○	○	○	○	15	
			思	○	○	○	○	○			
			態	○	○	○	○	○			
	Pre-Lesson 2 I Like Junk Food! オレはジャンクフードが好きだ！	・一般動詞	・一般動詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ・自分の日常の行動や食べ物好みなどを、一般動詞を用いて伝え合う。	知	○	○	○	○	○	15	
			思	○	○	○	○	○			
			態	○	○	○	○	○			
	Communication 1 自己紹介	・自己紹介	・ここまで学習したことをもとに、自己紹介の仕方を理解し、伝え合う。	知	○	○	○	○	○	15	
			思	○	○	○	○	○			
			態	○	○	○	○	○			
	英文のしくみ 1	・文型の理解	・「主語＋動詞」「主語＋動詞＋補語」「主語＋動詞＋目的語」の文型を理解する。	知	○	○			○	9	
			思	○	○			○			
			態	○	○			○			
6	中間考査			知	○		○		○	9	
				思	○		○		○		
				態	○		○		○		
	Lesson 1 Breakfast around the World 私の朝ごはん	・動詞の過去形	・動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ・世界の朝食を紹介するスピーチを通して、その特徴や相違を学習する。	知	○	○	○	○	○	15	
			思	○	○	○	○	○			
			態	○	○	○	○	○			
	Lesson 2 Australia's Cute Quokkas 人なつっこい野生動物	・進行形	・進行形を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ・野生動物について学んだ事柄や好きな動物について、自分の考えや好み、理由を整理・理解し、伝え合う。	知	○	○	○	○	○	15	
			思	○	○	○	○	○			
			態	○	○	○	○	○			
7	文法のまとめ 1	・be / 一般動詞 ・否定文と疑問文 ・過去形 / 進行形	・これまでの文法の形・意味・用法を理解する。 ・これまでの文法を用いて、相手とコミュニケーションを図る。	知	○	○	○		○	12	
			思	○	○	○		○			
			態	○	○	○		○			

	期末考査			知		○			○	6	
				思		○			○		
				態		○			○		
9	Lesson 3 A Train Driver in Sanriku 笑顔を運ぶ列車	・助動詞 can , will	・助動詞 can , will を用いた文の形・意味・用法を理解する。・職業観の紹介, 職業の意義, ある場所への行き方などについて, can や will を用いて伝え合う。	知	○	○	○	○	○	15	活動観察
				思	○	○	○	○	○		
				態	○	○	○	○	○		
10	Communication 2 道案内	・道案内	・ここまで学習したことをもとに, 地図を見ながら道案内の仕方を理解する。	知	○	○	○	○	○	15	ワークシート 小テスト
				思	○	○	○	○	○		
				態	○	○	○	○	○		
	Lesson 4 A Miracle Mirror 夢のような絶景	・to 不定詞 (to+ 動詞の原形)	・to 不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ・行ってみたい場所ややりたいことについて, to 不定詞を用いて伝え合う。	知	○	○	○	○	○	15	
				思	○	○	○	○	○		
				態	○	○	○	○	○		
	中間考査			知		○			○	6	
				思		○			○		
				態		○			○		
11	Lesson 5 Learning from the Sea 長浜高校水族館部	・動名詞 (動詞の~ing 形)	・動名詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ・将来の夢や先週末に楽しんだことについて, 考えや気持ち, 情報などを伝え合う。	知	○	○	○	○	○	15	活動観察
				思	○	○	○	○	○		
				態	○	○	○	○	○		
	英文のしくみ2	・文型の理解	・主語+動詞+目的語+目的語	知	○	○			○	9	ワークシート
				思	○	○			○		
				態	○	○			○		
12	文法のまとめ2	・to 不定詞 ・動名詞 / 接続詞 ・助動詞	・これまでの文法の形・意味・用法を理解する。 ・これまでの文法を用いて, 相手とコミュニケーションを図る。	知	○	○	○		○	12	小テスト
				思	○	○	○		○		
				態	○	○	○		○		
	Reading 1 Short Stories in English	・ユーモアの理解	・英語で書かれた Short Stories の内容, 要点を捉えて理解する。	知	○	○	○	○		12	
				思	○	○	○	○			
				態	○	○	○	○			
	期末考査			知	○		○	○		9	
				思	○		○	○			
				態	○		○	○			
1	Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period 奇想天外な浮世絵師	・受け身 (be 動詞+過去分詞)	・受け身を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ・好きな絵の紹介とその理由について, 受け身を用いて情報・考え・気持ちを伝え合う。	知	○	○	○	○	○	15	活動観察 ワークシート 小テスト
				思	○	○	○	○	○		
				態	○	○	○	○	○		
3	期末考査			知	○		○	○		9	
				思	○		○	○			
				態	○		○	○			